

ZANDEN Model 120 の展開(96)

—総括—

1. 始めに

前報(95)までの結果および TruPhase の活用(2)の総括を行います。

2. Model 120 設定条件の試聴経過

ZANDEN Model 120 を使用したアナログ盤特性(イコライザーカーブ、位相、第4時定数)の評価結果は、オーディオ資料室の[アナログ盤特性表](#)に整理しています。その後も下記においてアナログ盤特性の評価を継続してきました。

[音源の位相チェック実験\(24\)](#)～[音源の位相チェック実験\(30\)](#)

[LINN LP-12 の再構成\(22\)](#)

[ZANDEN Model 120 の展開\(1\)](#)～[ZANDEN Model 120 の展開\(95\)](#)

[TruPhase の活用\(2\)](#)

今回、それらの結果をオーディオ資料室の[アナログ盤特性表 2](#)に整理するとともに総括を行います。

3. Model 120 設定条件の試聴結果

- ・[アナログ盤特性表](#)以降の評価においても[アナログ盤特性表 2](#)のとおりの結果が得られ、ZANDEN から提供されたリストにあるレーベルの特性とは概ね整合することが分り、さらにリストにないものも把握が可能でした。
- ・[音源の位相チェック実験\(24\)](#)～[音源の位相チェック実験\(30\)](#)においては、Brooklyn DAC+の位相反転機能を活用してアナログ盤の位相のチェックを行いましたが、ZANDEN Model 120 の位相反転結果と整合しました。
- ・[TruPhase の活用\(2\)](#)では、TruPhase の位相反転機能を活用して位相のチェックを行いましたが、ZANDEN Model 120 の位相反転結果と整合しました。

4. まとめ

ZANDEN Model 120 を使用したアナログ盤特性が明らかになるとともに、位相チェックに関しては Brooklyn DAC+および TruPhase の位相反転機能を活用したチェック結果と整合しました。

以上